

# 経営比較分析表（平成29年度決算）

新潟県魚沼市 小出病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
指定管理者(利用料金制)	12	-	透訓	救輪
人口(人)	建物面積(m <sup>2</sup> )	不採算地区病院	看護配置	
36,951	14,375	第2種該当	10:1	

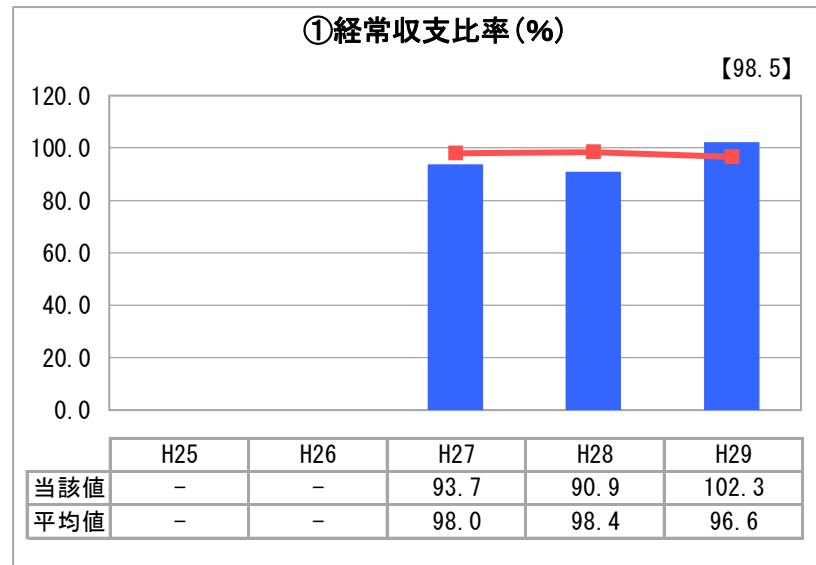
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

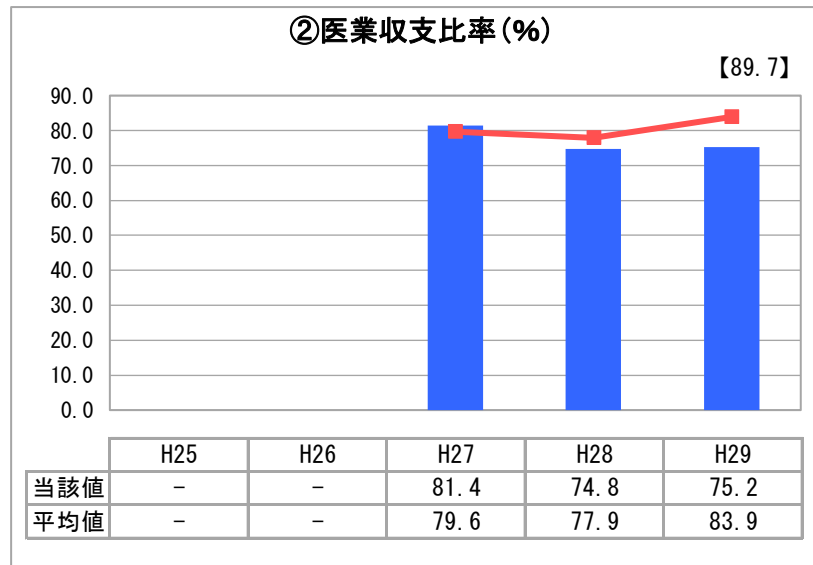
許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
90	44	-
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
-	-	134
稼働病床(一般)	稼働病床(療養)	稼働病床(一般+療養)
90	44	134

グラフ凡例	
■	当該病院値(当該値)
—	類似病院平均値(平均値)
【】	平成29年度全国平均

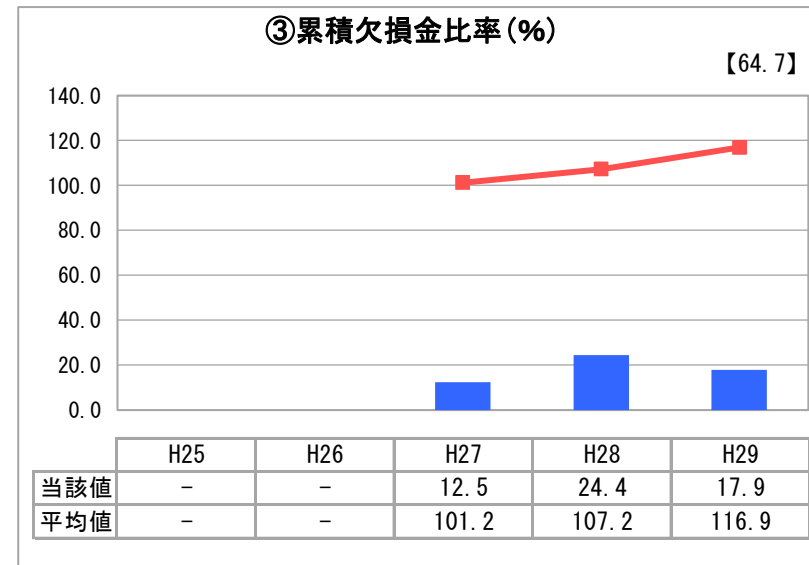
## 1. 経営の健全性・効率性



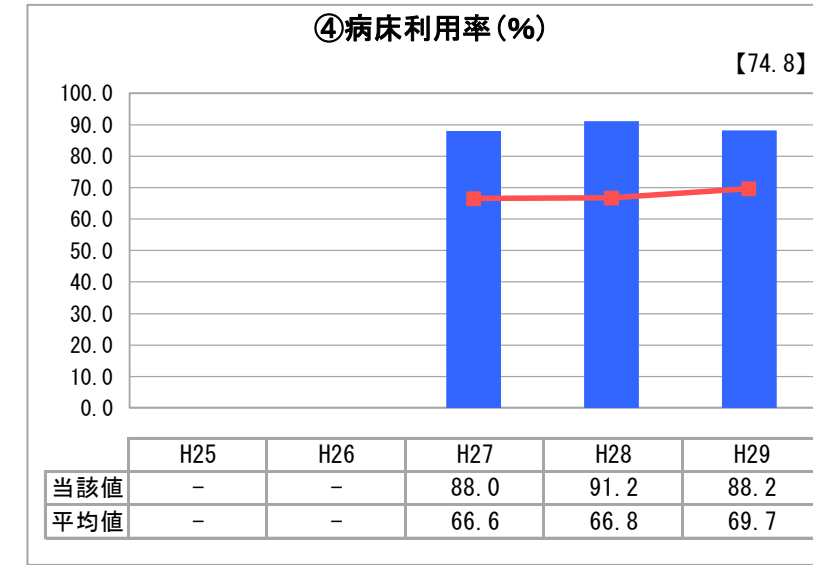
「経常損益」



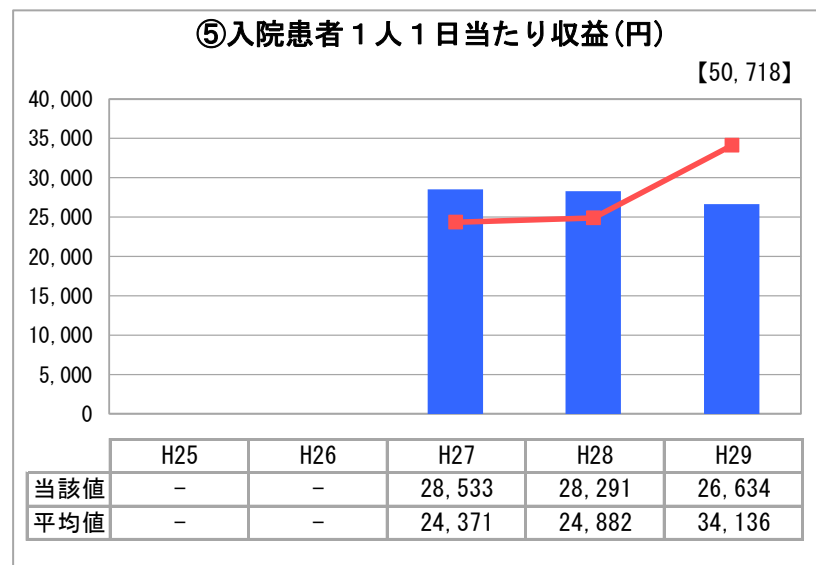
「医業損益」



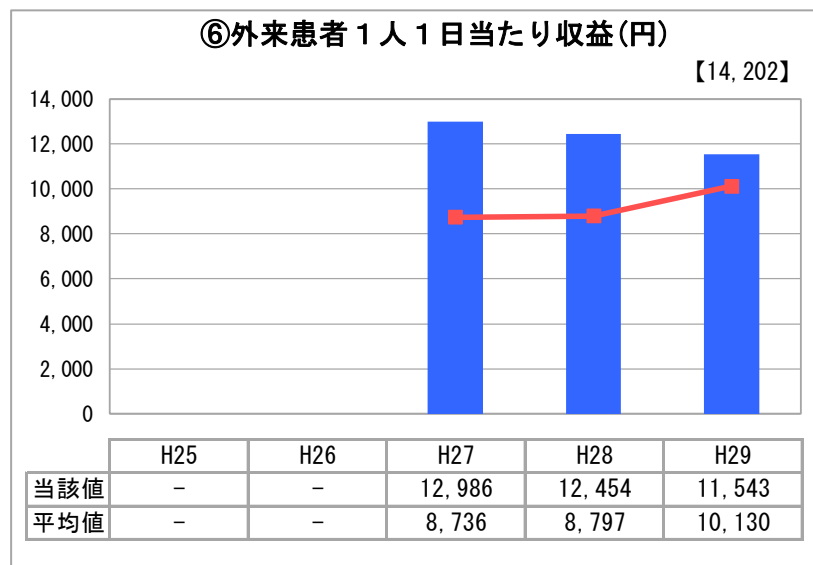
「累積欠損」



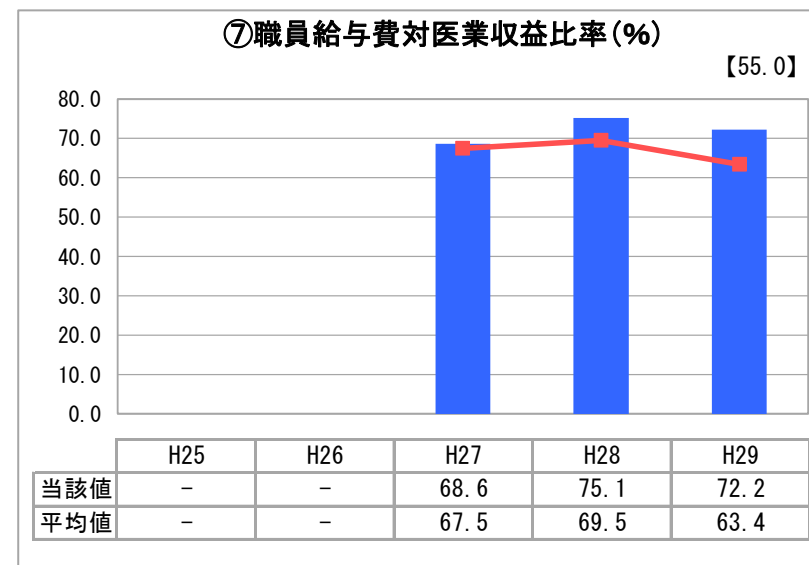
「施設の効率性」



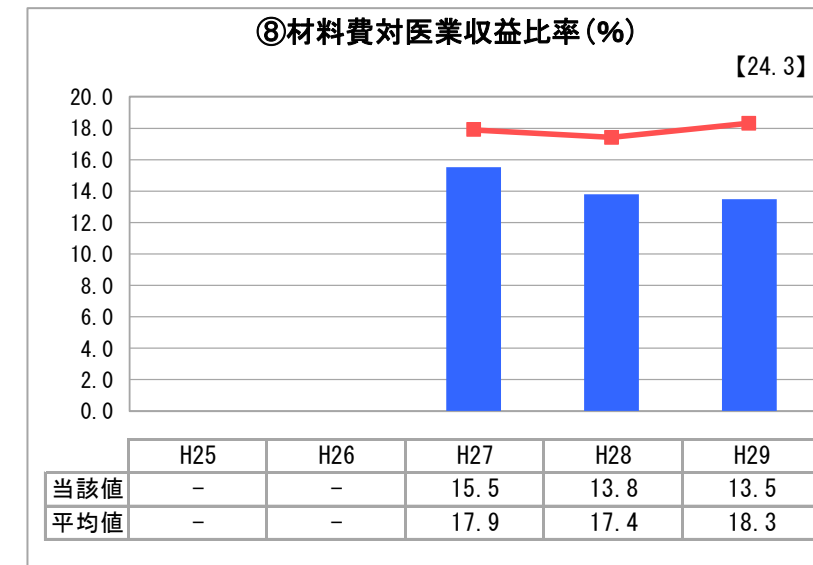
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

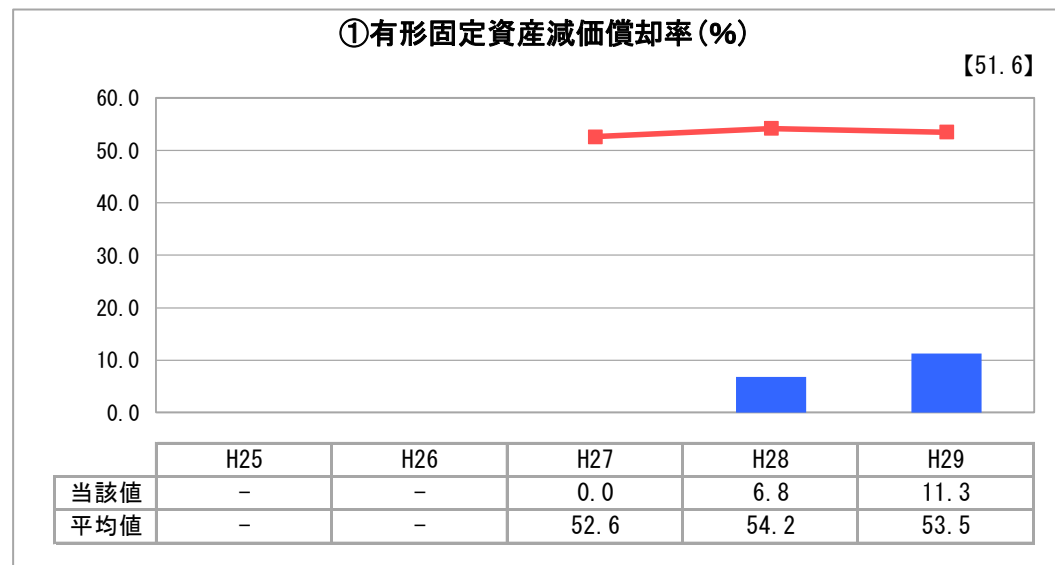


「費用の効率性①」

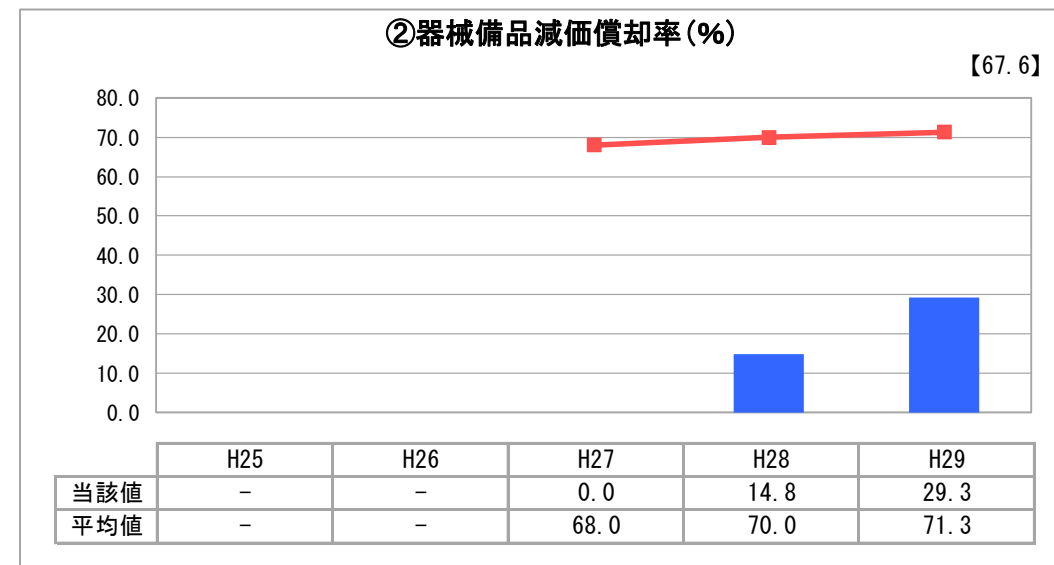


「費用の効率性②」

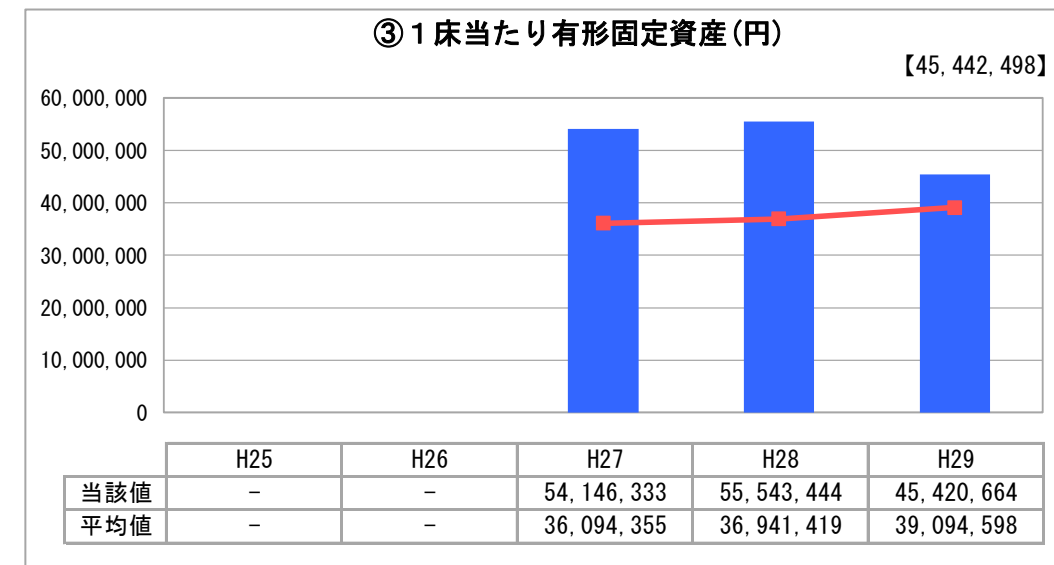
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「器械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

## I 地域において担っている役割

- ・過疎地に立地する市内唯一の公立病院として一般医療を提供するとともに、救急告示病院として一次救急体制を整えている。
- ・へき地診療所への応援医師派遣など、地域医療の中核施設として不採算医療を実施している。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

① 廃止した市立病院の資産引継ぎに伴う特別利益により一時的に黒字を達成したが、次年度以降は全国平均程度で推移の見込み。  
 ② 不採算地区病院のため、一般会計負担金等の医業外収益の割合が高いことから平均値を下回っている。  
 ④ 医療圏域内で行われた公立病院再編の影響で高めに推移している。  
 ⑤ H29年度に療養病床を開設したため、前年度を下回る結果となった。  
 ⑥ 平均値を上回っているが、増床に伴う施設基準の変更もあり減益となっている。  
 ⑦ 平均年齢が高い職員構成であり、当分の間、この水準が継続する見込みである。  
 ⑧ 手術に関連した特定保険医療材料費などが少ないことから平均値を下回っている。

### 2. 老朽化の状況について

①② 「減価償却率」は、H27年度開院の新設病院であり、減価償却が開始されて間もないため、低い値となっている。  
 ③ 「1床当たり有形固定資産」は、H29年度の増床で完成型に近い値となっている。建設時期が震災復旧、五輪特需と重なった影響もあり、平均値を上回る結果となった。

### 全体総括

・経常収支は、指定管理者会計においては、高い病床利用率により黒字を維持していく。市病院事業会計においては、初期投資分の減価償却費により一時的に費用が増加している影響で赤字が生じているが、繰延収益の収益化等により新病院改革プラン内のH32年度には黒字化する計画である。  
 ・施設更新に備え、長期収支計画に基づき一定の資金確保を進める。

※ 「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。